

ワイヤレス給電後付け

島田理化が車載装置開発

【立川】島田理化工業（東京都調布市、田中智明社長）は、市販の電気自動車（EV）に後付けできるワイヤレス給電の車載装置を開発し、公道での走行実験を始めた。市販EVの給電プラグ規格に対応した高速無線通信による給電制御方式を採用。独自のワイヤレス給電インバーターと組み合わせた。車両の部分改修のみでワイヤレス給電機能を備えられ、改造自動車の届け出はいらない。

同インバーターは複数車両への同時給電も可能で、最大出力45キロワット。実験中の車両・インバーターは22～24日にパシフィコ横浜（横浜市西区）で開かれる「人とくるまのテクノロジー展2024 YOKOHAMA」に出展する。

▲ワイヤレス給電の車載装置を搭載したEV市販車

